

平成26年度の主な事業報告

社会福祉法人 ルンビニ園

社会福祉事業

児童養護施設の運営

「児童養護施設運営指針」及び「全国児童養護施設協議会倫理綱領」をもとに、子どもたちが健康で充実した人生を送るため、優しさや意欲を身につけ、健全でたくましい社会人となることを養育の基本として、次の事業を実施した。

1 児童の支援について

- (1) 児童相談所及び教育関係機関との連携を密にし、定期的な連絡会議や学習支援事業(富山市)等を通し、子ども達の育成指導に努めた。また、ハッピーウーマンプロジェクト(性教育講義)等により、中・高校生への健全な性知識の醸成に努めた。さらに、健康の維持向上に努めるとともに、インフルエンザなど、感染症の発生に迅速に対応しその拡大防止に努めた。
- (2) 目標ある充実した生活を送るための、よりよいコミュニケーションづくりに努めた。
- (3) 施設外活動や各種行事を通し、社会的モラルの向上に努めた。
- (4) 年齢及び個々の能力に応じた指導を通し、社会性や学習意欲等の向上に努めた。
- (5) 平成26年度は、措置解除による退所者が17名、入所者7名で月別の利用者数は平均で63名となった。なお、昨年度と比較して8.3人の減少が見られた。

2 生活環境の整備・保全について

快適な施設を維持するため、不良個所については速やかな補修・修理に努めた。また、花壇の整備や周辺環境の美化にも努めるなど、生活環境の向上に努めた。

3 ボランティアの受け入れについて

社会との連携を図っていくため、各種ボランティア(富山市医師会による歯科検診や大山町・大沢野町赤十字奉仕団による除草活動等)の積極的受入れに努めた。

4 職員の資質向上について

職場研修や各種研修等への積極的な参加により、職員の資質向上を図るとともに、入所児童への支援技術の向上に努めた。特に、職員による児童への体罰や虐待防止のための研修を受講し、子どもへの指導のあり方と職員自身の自己コントロールの必要性を学んだ。さらに、他の社会福祉施設(介護施設)の取り組みについての研修を受け、児童養護に携わる職員の資質向上を図った。

5 非常災害等対策について

入所児童の安全と施設の保全を図るため、各種の避難訓練等を実施したほか、緊急放送機器や消火栓等の点検を行うなど、非常災害時等の対策に万全を期すよう努めた。人命の不測の事態に対処するため、救命処置のための「自動体外式除細動器(AED)」を設置した。

6 第三者評価(自己評価)について

児童への処遇向上のため、全職員が自己評価を実施し、平成26年4月から27年1月にかけて、第三者評価機関(富山県社会福祉協議会)による評価を受けた。

7 実習生の受け入れについて

富山・石川等の大学・短期大学・専門学校等からの実習生を受け入れた。

8 各種行事の実施について

「花祭り」や「納涼祭」、「キャンプ」、「ひまわり旅行」など、各種の行事(ボランティアを含む)を実施した。

公益事業

該当なし

収益事業

該当なし